

2016年度 書道Ⅰ シラバス

1 学年 2 単位 教科【芸術科】 学級【1,2,3,4,5,6,7,8 の選択者】
使用教科書【光村図書】 副読本【教育出版】

学習目標

- ・書写と書道の違いを理解する。
- ・書道が芸術の分野であることを 歴史を通して理解する。
- ・日本の伝統文化に親しんでいる。
- ・臨書は、初めてなので、古典への 親しみ、書道への関心、興味が深められるようにする。

評価

- ・書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。[書への関心・意欲・態度]
- ・書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。[書表現の構想と工夫]
- ・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。[創造的な書表現の技能]
- ・日常生活の書の効果や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。[鑑賞の能力]

学期	単 元	月	学 習 の ね ら い	学 習 内 容	評価・留意点
一 学 期	書へのいざない 1 書に親しもう 2 用具・用材 3 姿勢・筆耕法 4 書の美を探ろう 平仮名 漢字 楷 書の学習 鑑 賞 臨 書	4 5 6 7	・書道の学習について学ぶ。 ・書の用具と用材について知る。 ・用筆、運筆、字形の取り方など、仮名を書く場合の基礎的な技術を会得する。 ・漢字の書の学習を学ぶ。 ・いろいろな線による表現を学ぶ。 ・漢字古典の作品鑑賞。 （書体、成立について理解をする） ・楷書の臨書について知る。 （用筆、運筆法、字形の練習） ・楷書の古典臨書の特徴捉え、表現方法を学ぶ。	・芸術科書道と国語科書写の関連を確認します。 ・学習目標は書写の美の探求であることを意識させる。 ・古典臨書の意義を理解させる。	・篆書の理解 ・用筆、運筆方構成法を習得 ・表現方法の面白さを味わう
二 学 期	行 書の学習 鑑 賞 臨 書 作品制作 仮 名・片仮名	9 10 11 12	・行書古典の作品鑑賞。 （書体、成立について理解をする） ・行書の臨書について知る。 （用筆、運筆、字形の練習） ・行書と楷書の相違について理解する。 ・書体、成立について理解をする。 ・行書の古典臨書の特徴捉え、表現を学ぶ。 ・実用書について学ぶ。 ・平仮名・片仮名の多様な表現理解する。 ・仮名の用筆、運筆、字形について理解 ・書体、成立についておよその理解する。	・実用性と芸術性という行書の二つの側面について理解する。 ・行書の用筆法を理解させる。 ・書の文化を実感させる。 ・細字（ハガキ、手紙） ・「い、ろ、は」の単体 ・仮名作品臨書	・隷書の特徴の理解 ・用筆、運筆方構成法を習得 ・表現の効果・効用についての理解 ・草書に 対して興味、関心
三 学 期	漢字仮名交じり 鑑 賞 臨 書 硬 筆	1 2 3	・簡単な作品制作を創作。 ・仮名の連綿線を理解し、表現する。 ・硬筆用具の扱い方に慣れる。	・多様な表現技術を实践させ、工夫に満ちた創作活動にする。 ・「い、ろ、は」の連綿 ・硬筆（手紙文）	・仮名の 技法や表現力 ・書の技